

令和7年度 大学コンソーシアム石川 第2回教職員FD/SD研修会

【研修名】 学生と向き合うために、まず自分を整える：大学教育に活かす漢方の実践

【概要】

学生支援、授業運営、研究活動など、大学教職員が担う役割は年々多様化し、日々の業務では高い精神的・身体的エネルギーが求められています。こうした中で、自らの心と体のバランスを保つことは、教育・研究の質を高めるうえでも欠かせない基盤です。

本研修では、東洋医学の視点から「**心身の健康**」にアプローチし、漢方の基礎的な考え方と、日常生活の中で無理なく実践できる「**養生（セルフケア）**」の方法を紹介します。

前半の講演では、漢方医学の基本概念に加え、講師ご自身の教育現場での経験をもとに、学生と向き合う際に心がけてきたことや、印象的なエピソードをご紹介します。

特に、「**学生を支えるためには、まず教員自身が整っていることが大切**」という実践的な視点に触れながら、教育者としてのセルフマネジメントのあり方について考えます。

後半は、参加者全員で簡単にできる「**経絡体操**」の実習を行い、心身のこわばりをほぐすリフレッシュ法を体験します。日常の業務の合間でも取り入れられる内容を通じて、自分自身の健康と向き合う契機となることを目指します。

教職員の健やかな状態こそが、学生支援と教育実践の土台です。東洋医学の知恵を生かした「**教育と支援のためのセルフケア**」を、実践的に学ぶ機会としてご活用ください。

【日 時】 令和7年 **8月25日** (月) **15時00分～16時30分** ※14時30分開場

【会 場】 **しいのき迎賓館 3階セミナールームA** (場所:金沢市広坂2丁目1番1号)

【対象者】 **加盟高等教育機関の教職員 (定員 20名)** ※先着順

事前申込みはこちらから <https://ws.formzu.net/dist/S91924950/>

申込み〆切：8月20日 (水) 午後12時

※定員に達し次第締め切りいたします。



【講 師】 **北陸大学 薬学部 劉 園英(りゅう えんえい) 教授**



専門 東洋医学、漢方薬

主な担当科目：漢方医学概論、東洋医学治療学、薬理薬物療法、臨床薬学Ⅰ、薬学演習Ⅱ、漢方臨床応用特論、天然物化学系実習など

所属学会・協会

日本中医協会 理事、日本中医薬協会 理事、日本臨床中医薬学会 評議員、日本中医学会 評議員、日本東洋医学会、日本抗加齢医学会など

専門分野

- ・認知症予防に対する漢方薬アプローチに関する基礎研究
- ・新型コロナ後遺症の改善に役立つ漢方薬
- ・漢方薬処方患者の漢方医学的「証」の適合に関する臨床研究
- ・漢方エキスを製剤化の臨床応用
- ・フレイル予防に役立つ漢方薬とツボに関する研究

著書

- ・「劉園英の漢方的健康生活」(単著)、かんたんパワフル薬膳レシピ(単著)など

会場へのアクセス <https://www.shiinoki-geihinkan.jp/about/access.html>



JR金沢駅から

JR金沢駅バスターミナル 兼六園口(東口) 3、6、8、9、10、11番、金沢港口(西口) 5番乗り場よりバスにて「香林坊(アトリオ前)」下車(所要約10分)、徒歩約5分

※地下駐車場をご利用の場合は、駐車スペースが限られています。

また駐車料金が発生しますことご了承ください。

できるだけ公共交通機関をご利用頂ければ幸いです。

※最初の30分のみ認証機を通せば無料です。

認証機は、1F 総合受付カウンター又は3F事務局にございます。

